

国家公務員採用一般職試験受験者向け



沖縄地区税関の特徴は？

A

沖縄地区税関が管轄するのは沖縄県のみですが、東西1,000km、南北400kmにも及ぶ広大な海域と多数の離島を抱えています。こうした地理的な特性から、空港や海港に加え洋上での密輸の取締業務が重要です。また近年の国際航空便や大型クルーズ船来の旅客増により、旅具通関業務が急務となっています。本島・離島の各部署で相互のコミュニケーションを図りつつ税関行政をすすめています。



税関に向いているひとは？

A

当直勤務や変則勤務に耐えうる体力、旅具検査における旅客対応にも物おじしないメンタルがあれば税関向きといえます。



税関職員の心構えは？

A

誠実に行動し、社会からの信頼と期待に応えることです。研修や実務を通して厳しい規律、連帯感の重要性、税関ファミリーの温かさを学びとってください。



必要なスキル・資格は？

A

採用時に必要な資格は特にありません。外国語の能力検定や簿記検定は取得していると実務で役立つこともあります。採用後の研修で十分身につけることが可能です。



税関職員のキャリアパスは？

A

能力や適性に応じておおよそ2～3年のサイクルで異動しながら昇任していき、将来的には課長級や幹部のポストに就くことが可能です。沖縄県外への転勤や他機関への出向することもあります。また育児や介護と仕事を両立させた働き方も選択できます。

国家公務員採用一般職試験受験者向け

Q 採用後はどこに配属される？

A 採用後、税関研修所（千葉県柏市）での研修を終えたのち沖縄地区税関の管轄内の部署に配属されます。新規採用職員は、空港旅具若しくは海港取締に配属されることが多いです。

Q 業務のやりがいは？

A 国家公務員として社会に広く貢献できることが挙げられます。また税関には様々な業務があり、経験を重ねるごとにスキルアップが可能です。

Q 採用前後でギャップに感じたことは？

A 個人によって受け取り方が異なるので一概にいうことは難しいです。雇用のミスマッチを生じさせないためにも、ぜひ業務説明会などにご参加いただき、疑問を解消していただければと思います。

Q 部署によって業務が異なる？

A 税関では空港や海港をはじめとする様々な職場で幅広い業務を行っています。海港取締や空港旅具、通関・収納など詳しい業務内容については、採用パンフレットをご覧ください。

Q 採用までに勉強しておいた方がいいことは？

A 特にありませんが、余裕のある方は語学や貿易事務の勉強をするのも良いかもしれません。

Q 分析業務はどんなことをする？

A 税関には分析業務を行う部門があります。主に高等教育で化学など専攻した者が関税中央分析所での研修・実務を終えて職務にあたります。「関」と「税」2つの側面から食品や鉱物、石油製品、不正薬物などの分析を行っています。

国家公務員採用一般職試験受験者向け

Q ワークライフバランスとしての取組みは？

A 仕事と子育ての両立支援、仕事と介護の両立支援、フレックス勤務や朝活・ゆう活の推進、超勤縮減などを通して職員ひとりひとりの私生活を充実させ、組織として効率的な業務運営となるよう努めています。

Q 離島勤務や県外勤務は必ずある？

A 必ずではありませんが、多くの職員が経験しています。なお、年に1度仕事や勤務地に関する希望を申告する機会があります。その希望を考慮して人事配置が行われますが、全員の希望に沿えるわけではありません。

Q 家庭をもっている職員はどれくらい？

A たくさんいます。採用されてすぐお子様が生まれた職員もいます。女性職員のみならず男性職員も積極的に育児休暇をとるよう推奨しています。

Q 他県からの受験者に特別な措置はある？

A 特にありませんが、業務説明会などがオンラインで参加できます。日程については、沖縄地区税関採用案内ページでご確認ください。※時期によってはオンライン説明会が終了していることもございますので予めご了承ください。

Q 当直勤務は男性がする？

A 男女で勤務条件が変わることはありませんが、妊婦や育児中の職員への配慮があります。

Q 県外勤務で何を学ぶ？

A 財務省や他税関で勤務して各地域の特色にあった業務を学んでください。

国家公務員採用一般職試験受験者向け

Q 採用研修はどんなことをする？

A 採用研修は全寮制の研修で、全国の税関の同期と共同生活を送りながら、税関で働くうえで必要な知識・技能を習得していただきます。内容は、税関実務、貿易実務、簿記、英会話、法律、接遇など様々です。税関では制服を着用し職権を行使するため敬礼や武道なども学びます。

Q 英語が苦手です。語学力は必須？

A 採用の段階で語学力は必須ではありませんが、研修で実務に必要なレベルまで習得が可能です。英語が苦手でも中国語、韓国語、ロシア語を学ぶ機会があります。

Q 海外勤務や留学の要件は？

A 謹厳実直に勤務年数を重ね、現地の言葉を日常生活レベルで扱えるとともに明確な目的目標をもった貿易事務のスペシャリストであれば推薦されると思います。

Q 語学研修って誰でも受けられる？

A 初級レベルであれば希望者から選ばれます。中級・上級レベルになると業務内容に適した者、ある程度の資格を有する者から選ばれます。

Q 語学力の上級ってどのレベルを想定しているの？

A 上級は通訳や母語話者と難なく意思疎通ができるレベル、中級は日常生活に足るレベル、初級はそれに満たないレベルを目安としています。

Q ベトナム語を学んでいます。現地で勤務できる？

A 日本国税関を代表してWCO（世界税関機構）や大使館、領事館などで勤務している税関職員がいます。まずは沖縄地区税関関税技術協力支援チームへの参加をおすすめします。

国家公務員採用一般職試験受験者向け



危険な業務もあるの？

A

危険なことはいくつもありますがありません。注意が必要な船内検査等を行う際は、ミーティングにおいて危険個所の確認などを行うとともに、複数名で検査にあたるなどして安全を確保しています。



グループでの職務が多いの？

A

当直勤務がある部署などでは班体制で職務にあたりますが、どの部署でも同僚や先輩と協働し効率的な業務をすすめています。



審理官として働くうえでの心構えは？

A

取締りなどを行う職員にも同じことがいえますが、関税法に基づく職権の行使はとて重責であり、責任感と使命感をもって挑まなければなりません。また張込みや尾行などで勤務が長時間になることもあるため、粘り強さも必要となります。



10月採用など、試験合格後にすぐに税関で働ける？

A

本年度は前倒しでの採用予定はございません。